

ふだんのくらしをしあわせに

「社協」は、社会福祉協議会の略称です

しばた社協だより

Window Art
をご紹介します
します

制作の様子 (アーティスト ^{いぬ}inuさん)

手話で“おつかれさま”を表しています

「みんなで仲良く」をテーマに描かれます

新発田市社会福祉協議会の道路側の窓に“ほのぼの一家”のアート作品が描かれているのをご存知ですか？描いてくれている方は市内の障がいサービス事業所を利用しているアーティスト ^{いぬ}inuさん。絵を描くことが好きで普段から多くの作品を作成しています。この作品のテーマは「みんなで仲良く」コロナ禍で大変な思いや暗い気持ちになることが多いですが、この絵を見て、市民の皆さんの心が温まってほしいと願っています！

令和4年
1月20日

編集・発行



社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

しばた社協だよりは、ボランティアグループ音声訳「むぎの会」により音声訳されています。

1 月号
No. 397

新年のごあいさつ



新発田市社会福祉協議会

会長 白田久由

明けましておめでとうございます。
2022年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
私たちの生活は、コロナ禍によって、大きく変わってしまいました。まさに「今まで当たり前だったこと」が「当たり前でなくなる」という象徴的な出来事になっています。

そして、新型コロナウイルスの怖さは、「病気が」不安を呼び、「不安」が「差別を生み、生活に悪影響を及ぼしています。この負の連鎖を広げてはいけません。相手を思いやり、繋がり、支え合うといった、それぞれの力を育むことが、不安を軽減し、嫌悪、偏見、差別を生まないことにつながります。私たちの中に、やさしさを広げることが、やさしい町をつくり出します。地域における福祉活動やボランティア活動も、「集う」ことが制限され、生きがいと安心をもたらす「居場所と出番」が少なくなっています。

人にとって本当に大切なものは、困ったときに助けてくれる、安心していられる場所、そして誰かのために何かをするチャンスが与えられることです。

生きがいは、何かをやって自分がすごく楽しい一人称の生きがい、誰かとやってみると楽しい二人称の生きがい、第三者、他者に何かをすることが楽しいという三人称の生きがいがあります。要するに他者のためになる喜びという点も、生きがいの一つになっています。この生きがいをもちあわせて助け合い活動が、心身の健康や幸せをもたらすことにつながっていきます。

本年も、私たち社会福祉協議会は、「ともに生き、ともにつくる、福祉社会」の実現をめざして、地域との顔の見える関係、つながりを大切に、地域の皆さま一人ひとりと関係機関・団体等、あらゆる関係者の皆さまと連携を図りながら、地域福祉活動を進めてまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

災害級の
大雪時

雪害ボランティアセンター

ボランティア
大募集

「雪のけ活動」しませんか？

大雪により日常生活に支障をきたした時、お年寄りや体が不自由な方の自宅（玄関先等）の除雪を手助けする目的で活動を行う「除雪ボランティア」を募集します。

活動期間 2022年1月～2月末頃

募集人数 週末を中心に活動できる方を50名

親のサロン

親子

近年、「社会的ひきこもり」や「ニート」など、若者を取りまく諸問題はますます深刻化してきています。様々な生きづらさを抱える若者と同じく、その家族も多くの不安を抱えています。新発田市社会福祉協議会では、生きづらさを抱える若者の両親、または家族を対象に、生きづらさへの理解や参加者同士の交流、社会とのつながりを持ってもらうことを目的とした様々な情報を共有する場「親のサロン」を開催しています。

開催日時・会場

奇数月 第3金曜日 午後7時～午後8時30分
新発田市ボランティアセンター
(新発田市本町4-16-83)

若者 + 交流会

Meet
Meと
いろんな色と触れて
自分なりの色を見つけよう

日ごろの思いを話し合ったり、情報交換をしたりして“つながること”への第一歩を一緒にはじめてみませんか？

月2回開催

第1金曜 午後6時～午後3時
(当面の間は午後7時まで)

第3金曜 午後1時30分～午後3時30分
(当面の間は午後2時30分まで)

会場 新発田市ボランティアセンター
(新発田市本町4-16-83)

不登校・ひきこもりを考えるセミナー

「立ち止まるキミへのメッセージ ～ありのままで大丈夫、キミらしさを大切に!～」

【主催】新発田市社会福祉協議会 【後援】新発田市教育委員会

【日時】令和4年2月23日(水・祝日)
13時30分～15時

【第1部】講話 13時30分～14時30分

【第2部】トークセッション 14時30分～15時

【聞き手】新潟県子どもの発達と不登校の会「アーベルの会」
代表 西伸之 さん

【話し手】Sunny Smile (不登校親の会)

【会場】新発田市ボランティアセンター

【定員】50名(先着順・申込要)
オンライン(Zoom環境)での参加も可

【講師】

新潟県子どもの発達と不登校の会
「アーベルの会」
代表 西伸之 さん



<講師プロフィール>

1957年、新潟市生まれ。金沢大学法文学部法学科卒業後、地元新潟に戻り中学校教員となる。1992年にアーベルの会(新潟県子どもの発達と不登校の会)を発足。子どもの教育についての講演なども多数行っている。新潟大学教育学部非常勤講師。新潟県立新津南高等学校非常勤講師。

【対象】不登校で悩む保護者及びその家族に寄り添う関係者、不登校問題に関わっている興味・関心のある方はどなたでも

令和3年度ふれ就活応援講座～後期～を開催します!
～参加者を募集～

これから就職活動に向けての準備を整えていきたいと考えている方を対象に、今年度の後期「ふれ就活応援講座」の受講生を募集します。興味のある方は是非お問い合わせください。

【対象者】今後又は将来的に就労を考えており、現在その準備が必要な概ね40代までの方

【定員】各講座10名(先着順)

【申込み】各講座の前日まで(※但し、申込みは先着順となります)

参加無料
申込必要
1講座のみ
受講OK

※講師の急な都合等により、変更・中止となる場合があります。

応援講座①	【日時】2月2日(水) 10時～11時 【会場】新発田市ボランティアセンター	〈テーマ〉:自己理解 「新たな気づきを通して自己理解を深めよう!」 講師:新発田市社会福祉課生活支援係 主任 石井 健太 様	新たな自分 再発見!
応援講座②	【日時】2月7日(月) 10時～11時30分 【会場】サン・ビレッジしばた ※新発田市ボランティアセンターに9時15分集合、その後マイクロバスで現地まで移動、講座終了後は集合場所まで戻り解散予定	〈テーマ〉:体づくり・コミュニケーション 「レクリエーションスポーツに挑戦しよう!」 講師:認定NPO法人 新発田市総合型地域スポーツクラブ とらい夢 様	たまには カラダを 動かして みようかな?
応援講座③	【日時】2月15日(火) 13時30分～15時 【会場】新発田市ボランティアセンター	〈テーマ〉:ペン字体験 「書いて学ぼう、ペン字のおもしろさ!」 講師:書道師範 高橋 正美 様	最近、字を書く ことが少なくなった けど大丈夫かな?
応援講座④	【日時】2月18日(金) 10時～11時30分 【会場】新発田営業所 ※新発田市ボランティアセンターに9時15分集合、その後マイクロバスで現地まで移動、講座終了後は集合場所まで戻り解散予定	〈テーマ〉:仕事体験(宅配便事業) 「すべての仕事には価値がある!第1弾 プロから学ぶ仕事体験」 講師:ヤマト運輸株式会社 様 ※店舗見学、事業説明、体験など	どんな仕事か 自分に合うの かなあ?
応援講座⑤	【日時】2月28日(月) 10時～11時30分 【会場】本社・工場 ※新発田市ボランティアセンターに9時15分集合、その後マイクロバスで現地まで移動、講座終了後は集合場所まで戻り解散予定	〈テーマ〉:仕事見学(建築リフォーム業) 「すべての仕事には価値がある!第2弾 プロから学ぶ仕事見学」 講師:株式会社マトー 様 ※店舗見学、事業説明など	
応援講座⑥	【日時】3月4日(金) 10時～11時 【会場】新発田市ボランティアセンター	〈テーマ〉:総括 「就活前に整えておきたい“いろは” ～後期講座のまとめ～」 講師:新発田市社会福祉協議会	

P2～3に関する問い合わせ・申込み先 :

新発田市社会福祉協議会

会費にご協力いただき ありがとうございました!

会費を財源として実施している事業



福祉教育(出前講座車いす体験)



若者支援セミナー(ぶれ就活応援講座)



在宅福祉サービス(生活応援団)



災害ボランティア養成講座



地域の居場所支援

●総合的福祉事業●

- 生活福祉資金貸付事業
- 地区福祉活動計画支援事業
- 福祉教育の推進
- 総合相談会

●在宅福祉サービス事業●

- 生活応援団事業
- 在宅高齢者給食サービス事業
- あんしんパック事業 等

●ボランティア活動推進事業●

- ボランティアセンター事業
- 地域みまもり隊
- 災害ボランティア活動の体制づくり 等

●子育て・若年者支援事業●

- 若者支援セミナー
- 生きづらさを抱えた若者居場所事業 等

●生きがい推進事業●

- 地域の居場所支援
- レクリエーション用具貸出
- エンディングノート「私の人生ノート」事業

社会福祉協議会とは

住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域の皆さんやボランティア、福祉、医療、教育等の関係機関などが協力して活動しています。

令和3年度

社会福祉協議会費

合計総額 8,364,923円

(令和3年12月28日現在)

～会費納入にご協力いただきました市民の皆さま、
町内会・自治会役員の皆さまありがとうございました～